



# きずな

平成26年度全道少年(U-11)  
8人制サッカー大会  
第12回JA全農杯チビリンピック  
小学生8人制サッカー大会  
北海道予選札幌地区予選

**優勝は Liv. FC!**  
準優勝 コンサドーレ札幌  
第3位 SSS



風が吹き抜け、心地よい気温の中コンサドーレグランドで行われたチビリンピック札幌地区予選は全6チームが参加しました。2ブロックに分け、各ブロック1位の2チームと、各ブロック2位同士で行われる代表決定戦を勝利した1チームの全3チームが全道出場権を得ました。各チームともよい経験ができるよう頑張ってください。

Aブロック1試合目		
8月30日(日) 東雁来コンサドーレG		
Liv. FC	真栄	
6	0-0 2-1 4-0	1

Aブロック初戦は Liv. FC と真栄の組み合わせとなった。序盤から Liv. FC がやや優勢にゲームを進め、サイドからのドリブル突破で相手陣地深くに侵入しチャンスを作り出す。しかし、真栄の粘りのディフェンスで簡単にはゴールを決めさせない。0-0のまま1ピリが終了。

両チーム全出場選手を入れ替え2ピリがスタートすると、Liv. FC 9番がドリブルで右サイドを突破する。そのまま深くえぐるようにドリブルしゴール前へパスを送ると、Liv. FC 26番がこれを冷静に流し込み待望の先制点を決める。その後も Liv. FC のサイド攻撃が真栄ディフェンスを苦しめ、一点目と同じような展開で Liv. FC 9番からのパスを Liv. FC 7番が決め2-0とする。しかし、真栄もサイド、中央と的を絞らせないボール運びで攻撃を仕掛ける。中央のコンビネーションから抜け出しFKを獲得すると真栄25番がこれを直接決めて2-1。このまま2ピリを終了する。

3ピリを迎えると、両チームとも中盤で素早くプレッシャーを掛け合い中々落ち着いてボールを保持できない展開が続く。しかし、またしても Liv. FC が得意のサイド攻撃からチャンスを作る。

右サイドでパスを受けた9番がドリブルで仕掛け、ゴール前にクロスを入れ17番が合わせ3点目を決めると、その後もサイド攻撃から得点を重ね、終わってみると6得点。真栄もゴール前までボールを運ぶも Liv. FC の堅い守備の前に攻めきることができ

ず、6-1でLiv. FCが一戦目の白星を獲得した。

Bブロック1 試合目		
8月30日（土） 東雁来コンサドーレG		
アンフィニ MAKI	コンサドーレ札幌	
0	0-2 0-0 0-1	3

強豪クラブチームがひしめく Bブロックの第一戦はアンフィニ MAKI とコンサドーレ札幌の試合で始まった。ボールを保持しゲームを支配したい両チームだったが、開始間際にコンサドーレ札幌8番がかけたプレスがアンフィニ MAKI ゴールキーパーのミスを誘い、幸先よく先制点をあげる。余裕ができたコンサドーレ札幌はワイドにボールを展開し、優勢にゲームを進める。同点に追いつきたいアンフィニ MAKI だったが、コンサドーレ札幌33番の右サイドからのクロスヘディングで流し込まれ追加点を許してしまい、2-0でコンサドーレ札幌がリードし1ピリが終了する。

2ピリが始まると、コンサドーレ札幌は左サイドからのクロスで幾度とチャンスを演出するが、これ以上失点したくないアンフィニ MAKI の必死のディフェンスを崩しきれず中々得点を奪えない。まず一点返したいアンフィニ MAKI だったが、決定的なチャンスを中々作らせてもらうことができず、2ピリは0-0のスコアレスで終了。

決着をつけるべく気合十分で迎えた最終ピリオド。コンサドーレ札幌がコートを広く使い優勢にゲームを進める。得点の欲しいアンフィニ MAKI がやや前がかりになったところをコンサドーレ札幌のカウンターが襲う。右サイドから中央、さらにそれを左に展開すると最後はコンサドーレ札幌28番が中にカットインし、ミドルシュートを放つとこれが決まり3-0でコンサドーレ札幌が勝利した。

Aブロック2 試合目		
8月30日（土） 東雁来コンサドーレG		
Liv. FC	SSS サクセス	
4	2-0 1-0 1-0	0

全道出場のために両チームとも勝ち点3が欲しい一戦。Liv. FC は得意のサイド攻撃を中心に SSS サクセスゴールに迫る。中央からのスルーパスに反応した Liv. FC 17番はゴールキーパーと一対一のチャンスを迎える。SSS サクセスゴールキーパーはこれを一度は阻むも、こぼれ球を Liv. FC 17番が自ら直接押し込み、Liv. FC が先制する。さらに、中央の狭いスペースでのパスワークから抜け出した Liv. FC 10番がペナルティエリアで倒され PK を獲得すると、自分でこれをしっかりと決めて追加点を得た。

2ピリでは、両者ともに譲らない攻防を繰り広げる。SSS サクセスは Liv. FC のサイド攻撃にしっかり対応しゴールを与えず、中盤でパスをしっかりと繋いで攻めようとするがゴール前までうまく運べない。Liv. FC はサイド攻撃で作った中央のスペースをうまくつき、ワンツーで抜け出した9番が一対一を冷静にゴール左スミへ流し込み3点目をあげる。

3ピリでも両チームゴール前でのボール保持者に対するアプローチが早く、シュート精度を欠き中々ゴールシーンが生まれず。試合も間もなく終わると思われた頃、ハーフウェイライン付近で FK を獲得した Liv. FC が直接ゴールを狙い、見事にロングシュートが決まる。試合は4-0で Liv. FC が勝利し、全道大会への出場権を一番乗りで獲得した。

Bブロック2試合目		
8月30日(土) 東雁来コンサドーレG		
アンフィニ MAKI	SSS	
0	0-1 0-0 0-2	3

全道出場のためには絶対に負けられない両者の一戦。開始のホイッスル直後から両チームともに素早くプレッシャーをかけ、互いに主導権を握らせない展開が続く。その中でもSSSは左サイドを起点にチャンスを作る。左サイドからのアーリークロスをうまく流し込みSSSが先制点をあげる。1ピリ中に同点に追いつきたいアンフィニ MAKIだが、中々決定機を作ることができずに1ピリが終了。

2ピリでは1ピリに続き、激しいボディコンタクトを厭わないプレーが随所で見られた。アンフィニ MAKI は10番を中心にチャンスを作るも、ラストパスで精細を欠き得点まで結びつかない。対するSSSはサイドからチャンスを作るが、アンフィニ MAKI 守備陣に阻まれ得点に至らず。両チームほぼ互角の展開で2ピリを終える。

勝負どころの3ピリはピリピリした雰囲気での開始。互いに得点が欲しい中、SSSがゴール近くで得たFKのこぼれ球を押し込み待望の追加点を得て2-0とすると、あとのなくなったアンフィニ MAKI の士気は最高潮になり試合はさらにヒートアップ。アンフィニ MAKI は10番を中心に右サイドから怒涛の攻撃を仕掛け、SSSゴールを何度も脅かすがゴールを決めきれず。逆にカウンターからSSSが3点目を決めて試合終了。SSSが3-0で勝利した。

Aブロック3試合目		
8月30日(土) 東雁来コンサドーレG		
真栄	SSS サクセス	
0	1-0 1-1 3-0	1

ともに勝って3位決定戦に進みたい真栄とSSSサクセス。試合開始直後から真栄は中央、サイドから積極的にドリブル突破を仕掛ける。右サイドから

のクロスを中央で待つ真栄25番が受け、ドリブルで抜け出し幸先よく先制点を決める。その後も真栄ペースでゲームは進む。中々ボールを保持しきれないSSSサクセスだが、徐々に攻撃陣が機能し始めて真栄陣地深くまでボールを運ぶシーンが何度か見られた。しかし、サイド突破するも最後のクロスの精度を欠き決定機を作れない。

1ピリとは対照的に、2ピリではSSSサクセスが優勢にゲームを進める。開始間際にコンビネーションで中央を突破しシュートまで行くがこれは真栄のゴールキーパーがナイスセーブ。ゴールを許さない。中々攻撃をさせてもらえない真栄だったが、右サイドをドリブル突破した8番が直接ゴールを決めて少ないチャンスを生かす。2ピリで追いつきたいSSSサクセスは、右サイドからのドリブル突破から強引にシュートを放つ。一度はポストに当たりゴールならず、と思われたが、跳ね返ったところを自らしっかり詰めて2-1とする。

3ピリ開始早々、FKを獲得した真栄は25番が直接決めて3-1とする。最低でも引き分けに持ち込みたいSSSサクセスは身長の高い4番を前線に送り得点を狙う。その4番がゴール前でフリーになったところに、右サイドからクロスがあがりビッグチャンスを迎えるが、4番のシュートは真栄キーパーの好セーブに阻まれる。一方、ゴール前の混戦からのこぼれ球をインサイドで正確にコースを狙い真栄が4点目を決める。さらにSSSサクセスのゴール前でのミスを見逃さず5点目を決めて真栄が3位決定戦に進出した。

Bブロック3試合目		
8月30日(土) 東雁来コンサドーレG		
コンサドーレ札幌	SSS	
1	0-0 0-0 1-0	0

ともに一勝ずつ。勝って全道出場を決めたいコンサドーレ札幌とSSSの対戦。互いにパス回し能力の高い選手を揃えるが、中盤でのプレスが早く、落ち着いてボールをキープできない。両チームとも相手陣地に侵入することができず、スコアレスで1ピリ

を終了する。

2ピリ開始早々から、コンサドーレ札幌はサイドの高い位置までボールを運び幾度もクロスをあげるが SSS の堅いディフェンスに阻まれ得点に結びつかない。互いに中々先制点が決まらず、観客の応援もヒートアップする。2ピリももう終わるかと思われた頃、コンサドーレ札幌はビッグチャンスを迎える。ペナルティエリア付近で獲得した FK のこぼれ球を詰めてゴールへ押し込むも、オフサイドの判定。0-0の拮抗した状態のまま最終ピリオドを迎える。

3ピリではコンサドーレ札幌が左サイドを中心に攻撃を仕掛ける。コンサドーレ札幌43番が左サイドからゴール前へクロスを送り、フリーの38番がシュートを狙うが惜しくもゴール上へ外してしまう。波状攻撃を仕掛けるコンサドーレ札幌は中々ゴールを決めることができず、SSS は素早いカウンター攻撃で得点を狙う。コンサドーレ札幌は試合終了間際にコーナーキックに合わせた34番がゴールを決めて待望の先制点を得る。残り時間で SSS の勢いある攻撃が繰り広げられたが、コンサドーレ札幌 DF 陣の集中力は最後まで切れず、1-0でコンサドーレ札幌がAブロック一位となり全道出場を決めた。

逆転を狙いたい真栄の思惑とは裏腹に2ピリは SSS の攻撃陣が爆発した。右サイドバックの縦パスに反応した16番が自らドリブルでゴール前まで持ち込み、倒れ込みながらシュートを決めて2-0とすると、その後も左サイドからのクロスに7番が合わせて3点目、右サイドのクロスに合わせて4点目、17番が右サイドからドリブルで持ち込みシュートを直接決めて5-0とした。反撃したい真栄だったが、SSS の素早いプレスにボールを中々キープさせてもらえず最終ピリオドへ。

得点を重ね余裕の生まれた SSS は自分たちのペースでボールを回し、真栄に反撃の隙を与えない。中央から抜け出した SSS 10番はドリブルでゴール前まで運び、豪快に左足で蹴り込み6点目をあげる。少ないチャンスを生かしたい真栄は、カウンター気味に SSSDF 陣の背後を巧妙に狙い、SSS ゴールへ迫る。しかし、これに耐えかねた SSSDF 陣に倒され、ペナルティエリア付近で直接 FK を得る。これまで FK から得点を決めている真栄25番は直接ゴールを狙ったがこれを決めきれず、一矢報いることができない。6-0で勝利した SSS が3チーム目となる全道大会出場の資格を得た。

3位決定戦		
8月30日(土) 東雁来コンサドーレG		
真栄		SSS
0	0-1 0-4 0-1	6

全道出場をかけた最後の一寸をAブロック2位の真栄、Bブロック2位のSSSが奪い合う。両チーム無駄な失点をしたくないからか、静かな立ち上がりとなった。徐々にSSSがゲームの主導権を握り始めると、コーナーキックのチャンスにSSSFWがヘディングで合わせるが決めることができない。その後もSSSはサイド攻撃を中心に仕掛けるが、集中の途切れない真栄DF陣は得点を許さず、スコアがなかなか動かない。1ピリ終了間際、左サイドをドリブルで突破した6番が中央にクロスを送ると、タイミングよく飛び出したSSS10番がこれをインサイドで流し込み先制点をあげる。このまま1-0で1ピリを終了した。



最後に行われた3位決定戦(真栄 vs SSS)の様子